

式辞（抄）

桜が咲き誇り、春爛漫のこの佳き日に、ご来賓の方々多数ご臨席のもと、群馬県立前橋南高等学校「第42回入学式」を挙行できますことを、心より御礼申し上げます。

ただ今、本校への入学を許可いたしました240名の新入生のみなさん、入学おめでとう。また、保護者の皆様におかれましても、ご子息ご息女のご入学に対しお慶び申し上げます。

本校は、群馬県における普通科共学校の先駆けとして、創立以来、教育目標「世界に通ずる豊かな人間性を養い、日本人としての責任と誇りを持つ人間の育成」を掲げ、進学校としての確固たる実績を積み上げて参りました。また近年では、新たに「独立自尊」「進取果敢」「下学上達」を校訓として定め、教育実践を広くアピールしております。

さて新入生のみなさん。みなさんはこれから三年間、この前橋南高校において高校生活を送ることになります。これからの三年間はみなさんの人生にとって極めて大切な日々となるはずです。楽しいことばかりではないでしょう。辛いこと、迷うこと、困ること。いろいろなことがみなさんの前にあらわれると思います。どうか様々な体験や経験をとおし、人間的に大きく成長してください。

本日、人生の新たなスタートラインに立っている新入生のみなさんに、お祝いと期待の気持ちを込めてひとつお話いたします。

お話しするテーマは「宝探し」についてです。

若者、特に高校生はだれもが皆、内に秘めた「宝物」を持っていると私は常々思っています。「宝物」とは、何かに優れている「才能や能力」であるかもしれませんが、「性格」や「人柄」など人間性の場合もあります。「宝物」は一つだけとは限りません。これから始まる高校生活の中で、一つでも多く自分自身の「宝物」を探し出し、それを磨きあげてほしいということが本日みなさんをお願いしたいことなのです。

「宝探し」の難しさは、本当に価値のある「宝」は簡単には見つからない、ということでしょう。自分の中にある「宝物」に気づくためには、いろいろなことに触れてみることです。高校生活の中でいろいろなことを経験してください。失敗を恐れず、前向きにチャレンジすることこそ、自身の中に眠る宝物に気づく秘訣なのだと思います。

各教科の勉強も、体験的な学習や生徒会活動、部活動なども、みなさんの中に眠る「宝物」を探すための機会、チャンスだと私は考えます。

あわてる必要はありません。一日一日の生活を大切にしながら、じっくり

と自分自身を見つめることです。自分の中に眠っている「宝物」に気づき、それを時間をかけて磨き上げることができる人が、将来、自分らしい人生を築くことができるのだと私は信じております。

保護者の皆様。ご息子ご息女は本日から高等学校における学習をスタートいたします。義務教育とは異なり、高等学校において各科目の単位を取り、進級、卒業することは、生徒にとってたやすいことばかりではないと思います。さらに、希望する進路を実現させるためには並々ならぬ厳しさも伴うはずです。ご息子ご息女が無事に卒業し、進路希望を実現させるためには、保護者の皆様からのご理解とご協力が不可欠です。私たち教職員も、生徒が、自身の未来を切り拓く力を身につけ、社会に広く貢献できる人間となれるよう全力を注ぎます。学校と家庭が手を携え協力しあうことをとおし生徒の健全育成が図れるよう、この場をお借りしてお願い申し上げます。

結びになりますが、新入生一人一人の高校生活が、希望と感動に満ちた、有意義なものとなることを祈念し式辞といたします。

平成29年4月10日

群馬県立前橋南学等学校 校長 狩野 清美